

平成 21 年度原子核工学専攻米国原子力学会 2009 年 冬の大会派遣学生公募案内

原子核工学専攻では、経済産業省原子力人材育成プログラムの一環として、国際的な場での研究活動の経験を増し、自己の研究の成果と意義を海外の研究者へ理解させる能力、海外の研究者からの質問・指摘等から今後の自己の研究の課題を抽出する能力等の国際的センスを身につけさせることを目的として、原子核工学専攻在籍の修士・博士学生を対象に、米国原子力学会 2009 年冬の大会(2009 年 11 月 15 日～19 日、米国ワシントン DC)での口頭発表のための学生派遣を実施いたします。大会の詳細は (http://www.new.ans.org/meetings/c_1)及び添付の Call for papers を参照してください。

派遣希望学生は、以下の応募書類を 6 月 3 日（水）（12:00 必着）までに提出してください。

派遣期間

2009 年 11 月 15 日－11 月 21 日（出張期間）

派遣学生

2 名。派遣学生には、ワシントン DC への往復旅費、現地滞在費、会議参加費及び論文掲載料が支給されます。派遣は、大会において研究成果の口頭発表を行うことが条件です。

応募書類

1. 志望理由書
 - ① 氏名、②所属、③学年、④学内連絡先（E-mail、電話）、⑤自宅住所、⑥志望理由を A4 で 2 枚以内に記述（日本語）
2. 発表要旨（英語）

添付の Call for papers 指定の様式で、Summary を作成し提出すること。
3. 卒業論文、修士論文あるいは最近の研究の概要：A4、1 枚程度（英語）
4. 留学経験あるいは外国滞在経験（もし、あれば）：国名、滞在時期及び機関
5. 指導教員の同意書（研究室所属の学生のみ、コース室所属の M1 学生は不要）（様式自由）
6. 最新の英語外部試験(TOEIC, TOEFL 等)のスコア（もしあれば写しを添付）
 - ・締め切り：6 月 3 日（水）12:00 必着
 - ・提出先：小原准教授室（北 1 号館 2 階 208 号室）

選考

書類審査及び面談により行います。

面談では、発表内容を Power point を用いて英語で説明し（発表時間 10 分）、その後質疑応答を行います。面談は英語能力の確認を含みます。

面談は、6 月 5 日（金）9：00 から北 1 号館 1 階会議室で実施します。

選考結果の通知

選考結果は6月8日(月)に本人及び指導教員に連絡します。派遣候補学生となった学生は直ちにANSに発表申込を行うこと。派遣は、SummaryがAcceptされた時点で正式決定となります。

報告書及び成果報告会

帰国後、派遣報告書を提出してもらいます。また派遣成果報告会で成果を発表してもらいます。

(参考)

・採用後の流れ

1. ANSへの発表申込 (Summaryの送付) (6月12日ANS締め切り)
2. Summaryのacceptの連絡 (7月28日まで) の後、派遣正式決定。
3. 大会への派遣。口頭発表。(11月15日-11月21日)
4. 帰国後、派遣報告書の提出、派遣成果報告会での成果発表。(報告会は22年2月予定)

報告書、報告会の報告内容は、国際的な場での研究活動として得られたものは何か、自己の研究の成果と意義を海外の研究者へ理解させることができたか、海外の研究者からの質問・指摘等から今後の自己の研究の課題を抽出することができたかについての内容を含むものとします。

担当教員が、報告書、報告会の結果から派遣成果の確認を行います。

問合せ先 (担当教員) : 小原 (tobara@nr.titech.ac.jp 内線 : 2380)